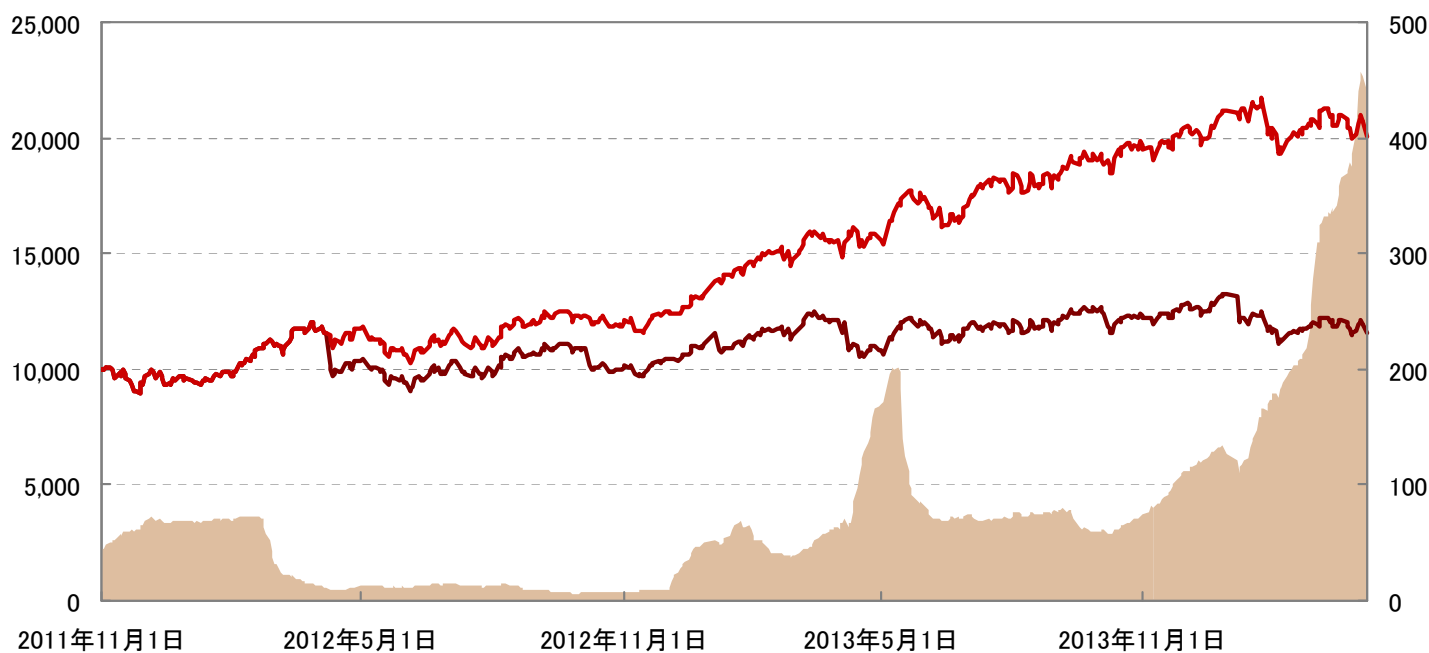


アメリカン・ニュー・ステージ・オープン 第9期決算のお知らせ

追加型投信／海外／株式

平素は「アメリカン・ニュー・ステージ・オープン」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。さて、この度当ファンドは、2014年4月7日に第9期の決算を迎えました。当ファンドでは、基準価額が第8期末(2014年1月7日)比で下落したこと等を勘案して、分配金のお支払いを見送らせていただくことといたしました。つきましては、ファンドの運用状況および今後の見通しにつきまして、2ページにQ&Aとしてまとめさせていただきましたので、ご高覧いただければ幸いに存じます。当ファンドにおきましては、引き続き米国新興成長企業株式への投資により収益の獲得をめざしてまいりますので、今後とも当ファンドをご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

基準価額・純資産総額の推移(期間:2011年11月1日(設定日)～2014年4月7日)



■ 純資産総額(億円)【右目盛】 ■ 基準価額【左目盛】 ■ 基準価額(分配金再投資)【左目盛】

- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)は設定日前営業日を10,000として指数化しています。
- ・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬控除後の値です。
- ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。

分配金実績(1万口当たり、税引前) (第9期)

第9期
(2014年4月7日)

0円

- ・運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。
- ・基準価額および配当金は、1万口当たりです。

■ 上記表、グラフは過去の実績・状況であり、将来の運用状況・成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

※後記の「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

アメリカン・ニュー・ステージ・オープン 第9期決算のお知らせ

Q1 第9期の分配金が見送られたのはなぜですか？

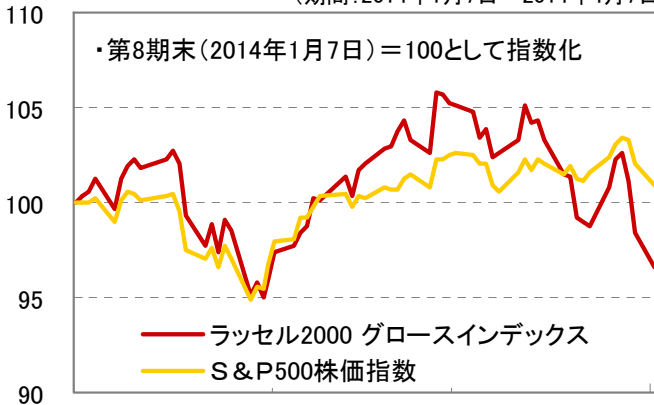
A1. 当期の基準価額が値下がりしたことから、分配金のお支払いを見送らせていただきました。

当ファンドは、画期的なテクノロジーやサービス等で売上を伸ばすことが期待でき、将来有望と考えられる米国新興成長企業の株式を中心に保有を継続して運用を行ってまいりました。しかしながら、第9期(2014年1月8日～4月7日)の米国株式市場では、S&P500種株価指数が上昇する一方で、小型成長株の代表的な指数であるラッセル2000グロスインデックスは下落する等、小型株にとって厳しい相場展開となりました。また、アルゼンチンペソの急落やウクライナ情勢の緊迫化等を背景に投資家のリスク回避姿勢が強まり、円が米ドルに対して上昇する展開となったことも、基準価額にマイナスの影響となりました。

この結果、ファンドの基準価額は第8期末比で値下がりして第9期を迎えることとなり、誠に遺憾ではございますが分配金のお支払いを見送らせていただくことといたしました。

米国株式(配当込み、米ドルベース)の推移

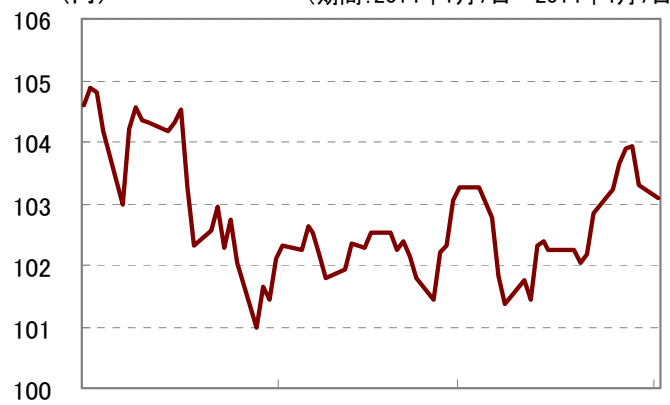
(期間:2014年1月7日～2014年4月7日)



2014年1月7日 2014年2月7日 2014年3月7日 2014年4月7日

米ドル(対円ベース)の推移

(円) (期間:2014年1月7日～2014年4月7日)



2014年1月7日 2014年2月7日 2014年3月7日 2014年4月7日

(出所)ブルームバーグ社のデータより三菱UFJ投信作成

【S&P500株価指数(配当込み)】S&P500株価指数(配当込み)は、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCが公表している株価指数で、米国の代表的な株価指数の1つです。市場規模、流動性、業種等を勘案して選ばれたニューヨーク証券取引所等に上場および登録されている500銘柄を時価総額で加重平均し指数化したものです。

【ラッセル2000グロスインデックス(配当込み)】ラッセル2000グロスインデックス(配当込み)は、米国株式市場全体の時価総額上位3,000銘柄で構成されるインデックスシリーズである「ラッセル米国株式インデックス」の一つです。時価総額上位1,000銘柄を除く2,000銘柄のうち、PBR(株価純資産倍率)が高く、成長が相対的に高いと予測される銘柄で構成されています。ラッセル・インデックスに関連するトレードマーク、サービスマークおよび著作権は、ラッセル・インベストメントに帰属します。インデックスは運用管理の対象とはなりません。また、インデックスは直接的に投資の対象となるものではありません。

Q2 今後の投資環境や見通し、運用方針について教えてください。

A2. 米国経済の良好なファンダメンタルズを背景に、中長期的に堅調な推移を見込んでいます。

米国では、2014年3月のイエレンFRB(米連邦準備制度理事会)議長のコメントを受けて早期利上げ観測が高まりましたが、利上げ開始は2015年以降とみています。米国経済は底堅く成長しているとは言え、大幅な利上げを行うほどの過熱感はなく緩和的な金融政策は当面維持されると予想しています。仮に利上げが実施されても、長期金利が5%を超えるような高金利局面にでもならない限り、中小型成長株への影響は限定的と考えており、なかでも、着実に業績を拡大する新興成長企業には投資家の関心が集まると予想されることから、当ファンドにとって好環境が続く見込みです。また、米国では、大企業が独自の技術やサービスで業績を伸ばす小型企業を買収する動きも目立ちつつあり、戦略的買収の対象となり得る有望企業へ投資する当ファンドにとって追い風になると考えています。2014年のIPO(株式新規公開)件数は年初より好調に推移しており、IPO市場が盛り上がりれば、新興成長企業への投資家の関心は更に高まると考えます。当ファンドにおいては、米国経済が安定的に成長する中、投資テーマの1つである「製造業ルネッサンス」(製造業の国内回帰)が進展するとみて、有望企業発掘に努めます。また、「高級品・サービスの消費拡大」、「インターネットを活用した新サービス」、「ビッグデータ」といった投資テーマにも注目しており、新技術の開発や独自のビジネス戦略によって成長する新興成長企業に投資を行う方針です。

(出所)RSインベストメンツ社の資料より三菱UFJ投信作成

■上記表、グラフは過去の実績・状況であり、将来の運用状況・成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。■本見通し・分析は作成時点での見解を示したものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■指数化しているグラフについて、計測期間が異なる場合は、結果も異なる点にご注意下さい。

※後記の「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

アメリカン・ニュー・ステージ・オープン

ファンドの目的・特色

■ファンドの目的

米国の株式を実質的な主要投資対象とし、値上がり益の獲得をめざします。

■ファンドの特色

- ・米国の新興成長企業株式*が主要投資対象です。
- ※預託証券(DR)を含みます。預託証券(DR)とは、Depository Receiptの略で、ある国の企業の株式を当該国外の市場で流通させるため、現地法に従い発行した代替証券です。株式と同様に金融商品取引所等で取引されます。
- ・ボトムアップ・アプローチにより投資銘柄を厳選します。
- ・投資ユニバースの選定にあたっては、企業独自の優位性、マーケットシェア、利益率、売上成長力、有能な経営陣の観点を考慮します。
- ・2～3年後の企業の成長性および事業環境を予測し、20～60社に投資します。
- ・株式等の運用の指図に関する権限を、アールエス・インベストメント・マネジメント・シーオー・エルエルシー(RSインベストメンツ社)に委託します。
- ・実質的な組入外貨建資産については、原則として、為替ヘッジを行いません。
- ・運用は主にアメリカン・ニュー・ステージ・マザーファンドへの投資を通じて、米国の新興成長企業株式へ実質的に投資するファミリーファンド方式により行います。

<主な投資制限>

- ・株式への実質投資割合に制限を設けません。
- ・同一銘柄の株式への実質投資割合に制限を設けません。
- ・外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
- ・デリバティブの使用はヘッジ目的に限定します。

<分配方針>

- ・年4回の決算時(1・4・7・10月の各7日(休業日の場合は翌営業日))に分配を行います。
- ・分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。
- ・分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。また、分配金額は運用実績に応じて変動します。将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

投資リスク

■基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。
したがって、投資者のみなさまの投資元金が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。
 投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

市場リスク

(価格変動リスク)

一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動するため、ファンドはその影響を受け組入株式の価格の下落は基準価額の下落要因となります。

(為替変動リスク)

組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を大きく受けます。

信用リスク

組入有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。

流動性リスク

有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合または取引が不可能となる場合、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となる可能性があります。

ファンドは、中小型株を主要投資対象としているため、大型株中心に投資する場合に比べ、市場・信用・流動性の各リスクが大きくなる可能性があります。

《ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。》

委託会社(ファンドの運用の指図等)

三菱UFJ投信株式会社

受託会社(ファンドの財産の保管・管理等)

三菱UFJ信託銀行株式会社

販売会社(購入・換金の取扱い等)

後記の各照会先でご確認いただけます。

設定・運用 …三菱UFJ投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号

加入協会 一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

アメリカン・ニュー・ステージ・オープン
投資リスク
■その他の留意点

- ・ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- ・収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。
- 投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。
- 収益分配金の支払いは、信託財産から行われます。したがって純資産総額の減少、基準価額の下落要因となります。
- ・ファンドは、ファミリーファンド方式により運用を行います。そのため、ファンドが投資対象とするマザーファンドを共有する他のベビーファンドの追加設定・解約によってマザーファンドに売買が生じた場合などには、ファンドの基準価額に影響する場合があります。
- ・投資判断によっては特定の銘柄に集中投資することがあります。そのため、当該銘柄の影響を大きく受ける場合があります。

■リスクの管理体制

ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲内で運用を行うとともに運用部門から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っています。

また、運用委託先で投資リスクに対する管理体制を構築していますが、委託会社においても運用委託先の投資リスクに対する管理体制や管理状況等をモニタリングしています。

手続・手数料等
■お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位 販売会社にご確認ください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額 ※ファンドの基準価額は1万口当たりで表示されます。基準価額は委託会社の照会先でご確認ください。
購入代金	販売会社の定める期日までに販売会社指定の方法でお支払いください。
換金単位	販売会社が定める単位 販売会社にご確認ください。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額－信託財産留保額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目から販売会社においてお支払いします。
申込締切時間	原則として、午後3時までに販売会社が受け付けた購入・換金のお申込みを当日のお申込み分とします。
申込不可日	ニューヨーク証券取引所の休業日、ニューヨークの銀行の休業日は、購入・換金のお申込みができません。2014年の該当日は1月20日、2月17日、4月18日、5月26日、7月4日、9月1日、11月11日、11月27日、12月25日です。なお、休業日は変更される場合があります。
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みには制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止および取消し	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止することおよびすでに受け付けた購入・換金のお申込みの受付を取り消すことがあります。
信託期間	2021年10月7日まで(2011年11月1日設定)
繰上償還	受益権の口数が20億口を下回るようになった場合等には、信託期間を繰り上げて償還となる場合があります。
決算日	毎年1・4・7・10月の各7日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年4回の決算時に分配を行います。 ※販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。
課税関係	課税上、株式投資信託として取り扱われます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度「NISA(ニーサ)」の適用対象です。 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

アメリカン・ニュー・ステージ・オープン
手続・手数料等
■ファンドの費用・税金
・ファンドの費用
【お客さまには以下の費用をご負担いただきます。】
お客さまが直接的に負担する費用
購入時

購入時手数料	購入価額 × 3.24% (税抜 3%) (上限) 販売会社にご確認ください。
--------	---

換金時

信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額 × 0.3%
---------	---------------------------------

お客さまが信託財産で間接的に負担する費用
保有期間中

運用管理費用 (信託報酬)	純資産総額 × 年2.2464% (税抜 年2.08%)
その他の費用・ 手数料	売買委託手数料等、監査費用、外国での資産の保管等に要する費用、マザーファンドの換金に伴う信託財産留保額等を信託財産からご負担いただきます。 これらの費用は運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

※運用管理費用(信託報酬)、監査費用は毎日計上され、毎決算時または償還時に信託財産から支払われます。その他の費用・手数料(監査費用を除きます。)は、その都度信託財産から支払われます。

※購入時手数料、運用管理費用(信託報酬)およびその他の費用・手数料(国内において発生するものに限りです。)には消費税等相当額が含まれます。

※お客さまにご負担いただく手数料等の合計額は、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

・税金

個人受益者については、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の価額から取得費を控除した利益に対して課税されます。なお、法人の課税は異なります。また、税法が改正された場合等には、変更となることがあります。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

当資料のご利用にあたっての注意事項等

- 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、貯金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。／販売会社が登録金融機関の場合、投資者保護基金に加入していません。／投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。／投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)等の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は、当ファンドの運用状況および市況動向をお知らせするために三菱UFJ投信が作成した資料です。／当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。／当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。／当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 市況動向および資金動向等により、ファンドの基本方針通りの運用が行えない場合があります。

《ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。》

お客さま専用
フリーダイヤル  **0120-151034**
受付時間／9:00～17:00 (土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

<オフィシャルサイト> <http://www.am.mufig.jp/>
<モバイルサイト> <http://k.m-muam.jp/a/1/3>
基準価額・分配金をメール配信(*メール配信対象外ファンドもあります。)



